



No. 9
近畿地方整備局
事業評価監視委員会
(平成28年度第2回)

一般国道417号

かんむりやまとうげ

冠山峠道路

【再評価】

平成28年7月
近畿地方整備局

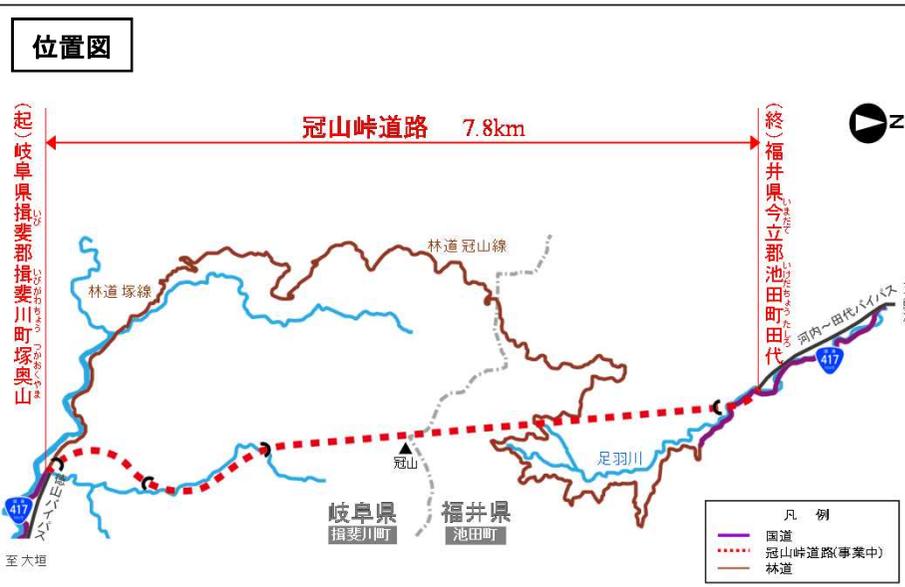
事業全体図

一般国道417号 冠山峠道路



一般国道417号は、岐阜県大垣市を起点とし、福井県南越前町を終点とする道路です。このうち、福井県と岐阜県の県境にあたる冠山峠付近は、交通不能区間となっており、代替路として線形不良箇所や冬期通行止めのある林道が利用されています。

冠山峠道路は、岐阜県揖斐郡揖斐川町塚奥山から福井県今立郡池田町田代を結ぶ7.8kmの道路で、岐阜県・福井県の交通不能区間の解消による安定した通行の確保を図ることを目的とした道路です。



事業の概要

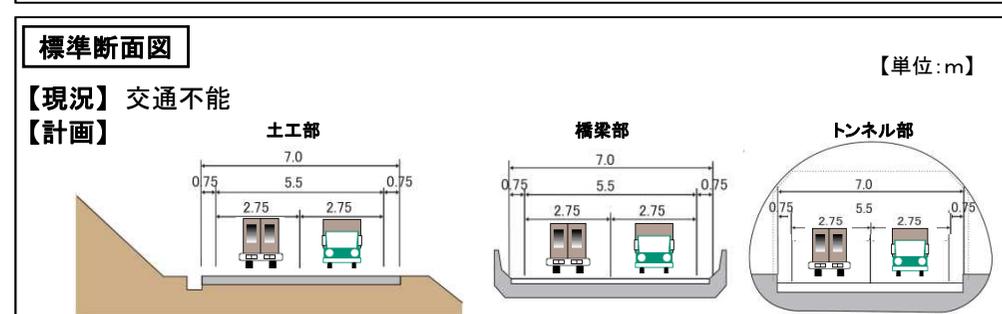
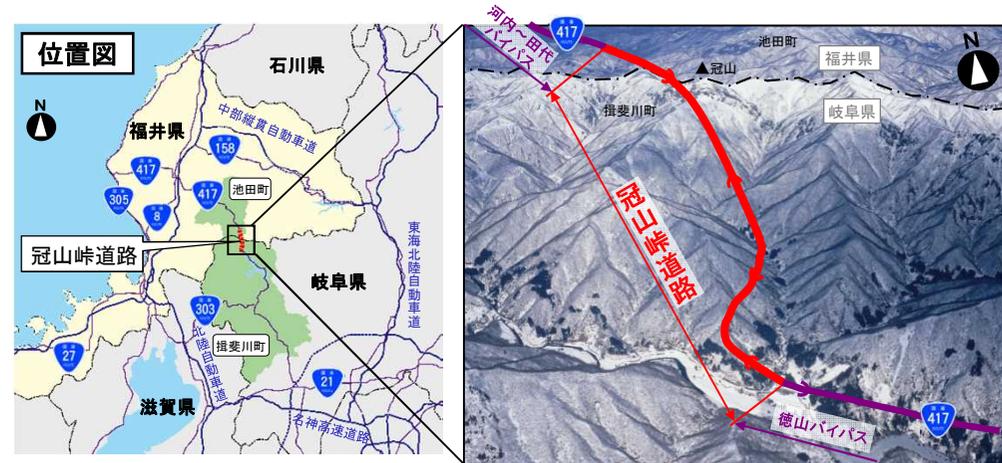
一般国道417号 冠山峠道路

事業の目的

■安定した通行の確保(交通不能区間の解消)

事業の概要、進捗状況

区間	(起) 岐阜県揖斐郡揖斐川町塚奥山 (終) 福井県今立郡池田町田代
道路延長	7.8km
構造規格	第3種第4級
設計速度	50km/h
車線数	2車線
標準幅員	7.0m
計画交通量	1,200台/日
全体事業費	230億円
事業化	平成15年度
用地着手	平成19年度
工事着手	平成20年度
開通延長	—
事業進捗率	25%(平成27年度末現在)
用地取得率	100%(面積ベース、同上)



再評価の視点	現在の状況	備考
事業の必要性に関する視点		
1)事業を巡る社会経済情勢等の変化	前回再評価時点(H25年12月)から大きな変化なし	■交通不能区間であり、代替路の林道はすれ違い不可、土砂崩れが多発。冬期は全面通行止等、幹線道路の代替路として十分な機能を有していない。
2)事業の整備効果	前回再評価時点(H25年12月)から大きな変化なし	
3)事業の投資効果	社会経済情勢等に大きな変化がないため算出を省略	前回 ・費用 186億円(全体) ・効果 299億円
4)地域における計画等	前回再評価時点(H25年12月)から大きな変化なし	
事業の進捗の見込みの視点	進捗率(事業費):25% 用地取得率(面積):100%	
コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点	新技術、新工法の採用など引き続き検討	

3. 事業の進捗の見込みに関する視点 一般国道417号 冠山峠道路

1) 事業の進捗状況

平成28年度事業内容

- ・現在、トンネル工事を実施しています。

進捗状況

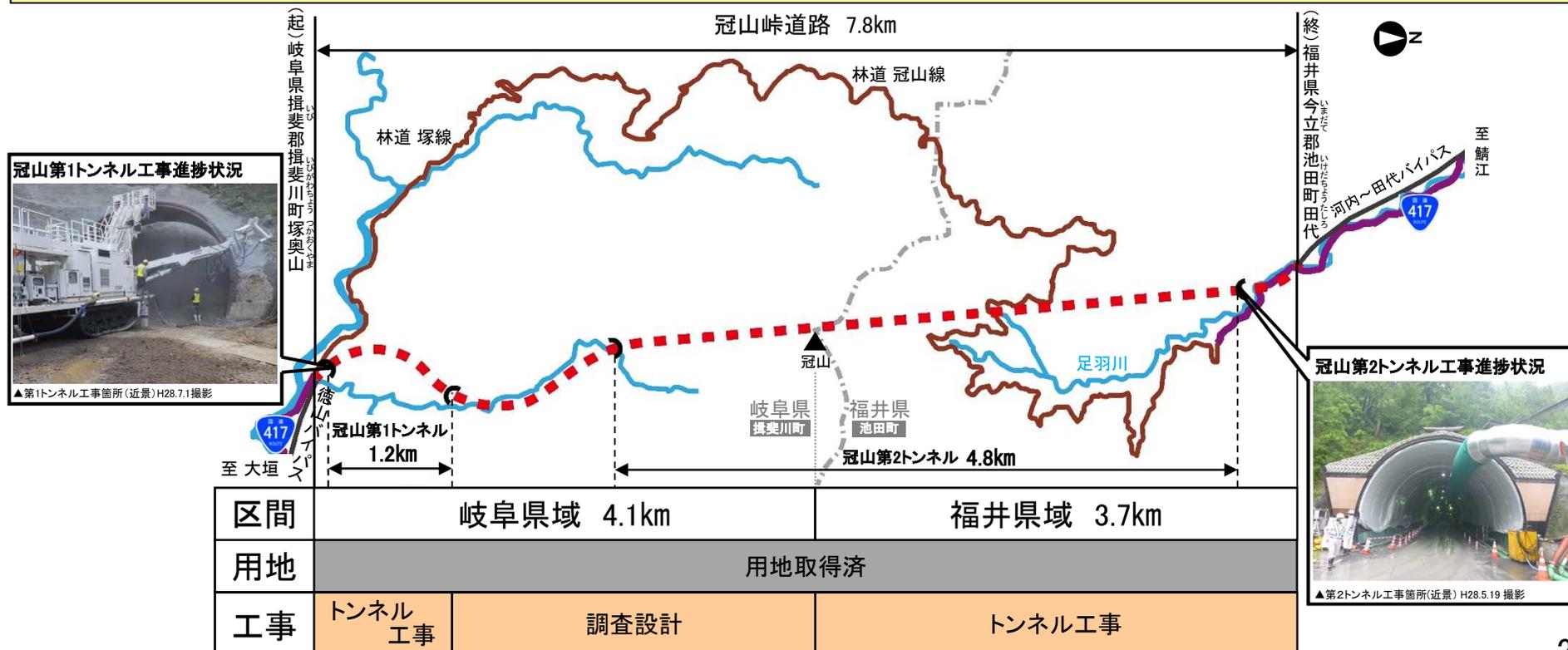
- ・平成27年度末までの進捗は、用地進捗率100%(面積ベース)、事業進捗率25%(事業費ベース)です。

事業進捗上の課題

- ・大きな課題はありません。

2) 今後のスケジュール等

- ・引き続き事業を推進し、早期の開通を目指します。



※平成27年度未現在

5. 関係自治体の意見

一般国道417号 冠山峠道路

■福井県知事

平成28年7月21日 土政推第198号

近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の作成に係る意見照会について(回答)

国道417号冠山峠道路の対応方針(原案)「事業継続」については異存ありません。
冠山峠道路については、北陸新幹線敦賀開業の効果を広く浸透させ、本県と岐阜県が一体的に発展するためにも、速やかに進めるべき事業である。
このため、十分な予算を確保し平成34年度までの完成を実現していただきたい。

■岐阜県知事

平成28年7月14日 技第347号

近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の作成に係る意見照会について(回答)

対応方針(原案)案のとおり、事業の継続について異存ありません。
なお、事業費については、最新技術の活用も含めて、徹底した縮減をお願いします。

◆沿線市町村の期待

■福井県池田町長

冠山峠道路の対応方針(原案)「事業継続」については異存なし。

冠山峠道路は、福井県と岐阜県を結ぶ、防災、観光、広域交流に寄与する重要な路線であると強く認識している。

池田町においては、今年3月に冠山峠道路の開通を想定して「池田町地方創生総合戦略プラン」を作成しており、早期の完成を強く望んでいる。

特に観光面において、冠山峠道路の福井県側入口に位置する池田町 志津原地区において、日本一の高さと長さを持つ「メガジップライン」を中心とした、木と自然に親しむ施設として「ツリーピクニックアドベンチャー」を今年4月にオープンさせファミリー層、特に県外から観光入込みに、大いに期待をしている。

また既設の志津原地区に存在する観光施設(温泉・そば道場・かずら橋)等の再開発プラン作成を今年度着手し、平成34年度に予定される北陸新幹線の敦賀開業、及び冠山峠道路の開通後の交通量増大に伴う観光人口に対応できる準備を開始したところである。

福井県および岐阜県の一体的発展のためにも、冠山峠道路は速やかに進めるべき事業であり、更なる整備のスピードアップを求めたい。

◆沿線市町村の期待

参考資料

■岐阜県揖斐川町長

冠山峠道路の対応方針(原案)「事業継続」については異存なし。

一般国道417号は、岐阜県と福井県を結ぶ重要な路線であり、歴史的にも両県の文化や産業等の交流を支えた重要なルートであるとともに、大規模災害時に広域的な代替路として機能し、現在建設が進んでいる東海環状自動車道等を介して、日本海側と太平洋側を結ぶ緊急避難路にもなる路線である。

しかしながら、県境部分における通行困難区間の解消が未だなされておらず、両地域の一層の文化交流や産業経済の相互発展を阻んでいる状況であり、安全・安心な地域社会を構築する上でも、通行困難区間の解消が喫緊の課題となっている。

このため、この冠山峠道路が整備されると、いよいよ北陸の潮風が流れ込み、岐阜県と福井県が相互に周遊しやすくなるため、一般国道417号の沿線観光地へのアクセスが向上し、観光の活性化につながるものと思われる。

また、岐阜県揖斐川町と福井県池田町は災害時相互応援協定を締結しており、冠山峠道路は、地域間を最短距離で結び、相互応援協定に基づく災害時の緊急避難、救援物資の輸送など相互の応援がより迅速かつ円滑に行えるものと期待している。

冠山峠道路は、事業の必要性に関する視点に変更はなく、事業の進捗の見込みの視点から継続が妥当と判断できる。

引き続き事業を推進し、早期の開通を目指すことが適切である。

事業継続

土 政 推 第 1 9 8 号
平 成 2 8 年 7 月 2 1 日

近畿地方整備局長 様

福井県知事 西川 一誠



近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る
対応方針（原案）の作成に係る意見照会について（回答）

平成28年7月4日付け国近整企画73号にて照会のありました
標記の件について、下記のとおり回答します。

記

- 1 国道417号冠山峠道路の対応方針（原案）「事業継続」については異存ありません。

冠山峠道路については、北陸新幹線敦賀開業の効果を広く浸透させ、本県と岐阜県が一体的に発展するためにも、速やかに進めるべき事業である。

このため、十分な予算を確保し、平成34年度までの完成を実現していただきたい。

- 2 国道161号愛発除雪拡幅の対応方針（原案）「事業継続」については異存ありません。

愛発除雪拡幅については、これまで大雪等により通行止めが多く発生しているため、安定的な交通が確保されるよう、早期完成をお願いしたい。

3 その他の意見

(イ) 直轄事業のコスト縮減について

直轄事業を推進するにあたり、コスト縮減を厳正に行うとともに、建設発生土の利用等によるコスト縮減に最大限努めていただきたい。

(ロ) 事業評価監視委員会

事業評価監視委員会の委員選定に当たっては、地方を代表する委員も選定するようお願いしたい。

(ハ) 地方への意見聴取

直轄事業負担金の負担者として、事業全体を見て判断する必要があるため、事業全体の見通しについても意見を述べる機会とするようお願いしたい。

技第347号
平成28年7月14日

近畿地方整備局長 様

岐阜県知事 古田 肇



近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）
の作成に係る意見照会について（回答）

平成28年7月4日付け国近整企画第73号で依頼のありました近畿地方整備局管内における直轄事業の再評価に係る対応方針（原案）案に対する本県の意見について、下記のとおり回答します。

記

対応方針（原案）案のとおり、事業の継続について異存ありません。
なお、事業費については、最新技術の活用も含めて、徹底した縮減をお願いします。